



2026年10月5日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ヘ リ オ ス
代 表 者 名 代 表 執 行 役 社 長 C E O 鍵 本 忠 尚
(コード番号：4593 東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 C F O リ チャード・キンケイド
(T E L : 0 3 - 6 8 0 7 - 5 9 3 7)

JENECELL 社への培養上清製品の初回発注分の出荷及び売上計上に関するお知らせ

当社は、再生医療分野における革新的な治療法及び製品の開発と提供を目指して事業を展開しており、その一環として、体性幹細胞培養上清液を基盤とした製品の研究開発および製造販売を推進しております。

2026年9月30日付発表「[JENECELL社への培養上清製品の初回発注分の出荷時期に関するお知らせ](#)」のとおり、当社は株式会社JENECELL（本社：397 Seochodaero #A-1907, Seocho-gu, Seoul, 06616, South Korea (<https://www.jenecell.com>)、以下、「JENECELL社」と言います。)への化粧品原材料となる培養上清（以下、「製品」と言います。）の出荷予定時期についてお知らせしていました。

この度、初回発注分1億4,400万円相当の製品について、当社からJENECELL社へ出荷を完了し、売上を計上しましたのでお知らせいたします。本出荷は、当社の細胞培養上清を基盤とした製品群における初めての商業出荷であり、再生医薬品パイプラインに続く収益機会の獲得に向けた具体的な一歩です。

今後の継続的な受注に向けて、製品の出荷量・出荷時期等を引き続きJENECELL社と協議しております。培養上清は、医薬品や化粧品の材料等、様々な分野での活用が期待されています。当社は、培養上清の活用に向けた研究や販売についてその他複数の有力な取引先との関係構築や交渉を進めてまいります。

今後の見通し

本売上は、2026年12月期第4四半期に計上いたします。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上

■株式会社 JENECELL について

JENECELL社は、医療用医薬品卸売上高国内No.1の企業グループであるアルフレッサホールディングス株式会社の子会社であるアルフレッサ株式会社の韓国子会社であり、幹細胞を基盤とした医薬品、医療機器、化粧品など多様な分野において、先端技術を活用した革新的な製品を開発しています。特に、幹細胞培養上清液（Stem Cell Conditioned Media, MSC-CM）を基盤としたプレミアム・コスメティック事業を通じて高機能スキンケア

ア製品の開発を推進しており、韓国の有望なバイオおよびヘルスケア企業との戦略的協力を基盤に、イン&アウト（In & Out）ビジネスおよびM&Aを積極的に推進するなど、オープンイノベーション戦略を展開しています。

<https://www.jenecell.com>

■株式会社ヘリオスについて

再生医療は、世界中の難治性疾患の患者さんにとって新たな治療法として期待されています。この分野では、製品開発・実用化への取り組みが広がり、将来的には大きな市場となるが見込まれています。ヘリオスは、iPS細胞（人工多能性幹細胞）などを用いた再生医薬品開発のフロントランナーとして、実用化の可能性のあるパイプラインを複数保有するバイオテクノロジー企業です。2011年に設立、2015年に株式上場（東証グロース: 4593）し、再生医薬品の実用化を目指して研究開発を進めています。体性幹細胞再生医薬品分野では、健康な成人ドナー骨髄由来の体性幹細胞から成る独自の細胞製品であるHLCM051を使用した急性呼吸窮迫症候群（ARDS）や脳梗塞急性期及び外傷由来急性腎不全（AKI）の治験を実施しています。HLCM051は、強力な抗炎症作用と免疫調節作用を示しており、さまざまな病態への応用が可能です。後期臨床試験において数百人の患者さんで試験され、3D培養法で一貫して製造されており、複数の適応症において数百人の患者さんで安全性と有効性の両方が実証されています。ヘリオスは、ARDS、脳梗塞急性期、外傷由来急性腎不全（AKI）に対し、HLCM051をグローバルに推進してまいります。iPSC再生医薬品分野では、免疫拒絶のリスクを低減する次世代iPS細胞であるユニバーサルドナーセル（UDC : Universal Donor Cell）を作製し、さらには、遺伝子導入技術により固形がんに対する殺傷能力を強化した次世代NK細胞（eNK®細胞）AKT-01/HLCN061の開発を、当社の開発パートナーである株式会社Akatsuki Therapeuticsの主導で、治験開始に向けて進めています。eNK®細胞は、動物モデルにおいて強固な抗腫瘍効果を実証しており、大量生産が可能な3Dバイオリアクターでの製造プロセスを実現しています。これらにより、がん免疫領域をはじめ、眼科領域、肝臓領域などで新規治療薬の開発に取り組んでいます。 <https://www.healios.co.jp>